

がんばっている人紹介します

クロースアップ

「楽しんでやろう」をモットーに

「第十五回全国家庭婦人バレーボールいそじ大会」に出場する

土岐クイーンズの皆さん

七月二十一日に、山梨県で行われた県大会で優勝し、十月八日からの三日間、福島県で開催される全国大会への切符を手に入れた「土岐クイーンズ」の皆さん。チームを代表して、和田美代子さん（土岐津町）にお話を伺いました。

どんなチーム？

市のバレーボール協会に登録しているママさんバレーボールチームの中から、この大会の参加資格である五十歳以上の方が集まって結成されたチームです。普段は、監督・コーチ・控え選手という「縁の下での力持ち」的な立場の方たちが集まっています。若いころは、勝負ばかりにこだわっていました。今自分が置かれた立場から、チームメイトの気持ちをお互いに思いやることができる、とても雰囲気の良いチームです。「心から楽しんでやろう」をモットーにしています。

県大会での戦いの様子は？

二回戦・準決勝が特に厳しかったですね。いずれも劣勢の試合展開でしたが、選手・ベンチが一体となって逆転勝利を収めました。その後、決勝戦では勢い乗って勝つことができました。まさにチームワークで勝ち取った優勝です。

バレーボールを続ける源は？

若いころは敵だった方たちと、今は心からバレーボールを楽しみたいという、志を同じくした仲間としてプレーできることが何よりも楽しいですね。このメンバーに出会えたからこそ、全国大会出場を

勝ち取れたと思いますし、続けてこられたと思います。



全国大会への抱負は？

市のバレーボール協会としても四十年ぶりの全国大会出場です。試合は楽しく、そして一つでも多く勝って、岐阜県を、土岐市を全国にアピールしたいですね。そして、五十歳を過ぎて、頑張れば全国大会に出られるんだという見本になれたらと思います。

メンバーの皆さん敬称略

深田浜子、青山末子、長江きみ子、青山富貴子、水野陽子、松岡シナ子、坂本節代、西尾久美子、赤塚貞子、和田美代子、磯由美子、佐橋美佐子、薄田より子、土田エリコ、林静子

プラザイベントガイド

文化プラザ 55-5711

世界に愛される物語を生んだのは、たったひとつの切ない恋

劇団四季 ミュージカル

アンデルセン

ご存じでしたか。あの「物語の王様」の人生に、切ない恋的一幕が秘められていたことを…。そして、その恋こそが「人魚姫」を誕生させたことを…。『アンデルセン』は、ハンス・クリスチャン・アンデルセンの若き日々を描いたミュージカルです。

文化プラザのみで
発売中!!

とき 11月22日(土)
午後6時30分開演

ところ サンホール

入場料 S席：8,400円 A席：6,300円 B席：4,200円
[全席指定]

※年齢にかかわらず、すべての方に入場券が必要です。

